

農村ツーリズム展開方針

令和2年(2020年)6月1日
根室振興局

1 地域の現状

- 根室振興局管内は北海道の最東端に位置し、北東部はオホーツク海に、南部は太平洋に面しており、冷涼な気候と広大な土地を背景にした酪農や海域の特性を活かした漁業を基幹産業としているほか、知床半島、野付半島及び納沙布岬などの魅力ある観光資源や日本で見られる野鳥の6割を超える種類が確認されている「野鳥の楽園」としての魅力有しており、観光業も地域の重要な産業となっている。
- 一方で人口減少が続いている現状を踏まえ、子育て支援の充実等の少子高齢化社会への対応や、酪農・水産業など基幹産業の振興及び地域資源を活かした広域観光の推進や交流・関係人口の拡大を図ることにより、人口減少社会における新たな視点での活力ある地域づくりを市町や関係機関・団体等と連携して進めている。

2 地域の抱える課題

- 農林漁業では少子高齢化による担い手不足が深刻な課題となっており、当地域の基幹産業である農業・水産業の生産力が低下するだけでなく、サービス、運輸など幅広い分野に影響を及ぼし、地域の活力低下が懸念されている。
- 夏期集中型、通過型観光の比重が高いといった状況にあることから、体験型観光に関する情報発信や教育旅行等の誘致を進めているが、農業体験の受入においては、労働力不足の影響により「受入農家の負担が大きいこと」、「受入農家戸数が少ないこと」、「各地域や農家によって取組への温度差があること」が課題となっている。

3 今後の展開方針

- 豊かな自然や雄大な景観、酪農や漁業といった地域産業と密着した体験メニューなどの観光資源に恵まれ、さらには北方領土を間近に体験できるという地域の特性を活かし、地域経済の発展、交流人口の増加、農林漁業への理解促進を図るため、地域の特性を活かした体験型観光を推進するとともに、教育旅行等の農業・漁業体験の受入継続及び受入農家の負担軽減に努める。

【具体的展開】

1 体験型観光の推進

- ・ 滞在型観光推進を図るため、国の農山漁村振興交付金（農泊推進対策、農山漁村活性化整備対策）等の活用について、事業制度の周知や関係者への助言・指導
- ・ フットパス等の自然を活かした体験型観光の推進
- ・ 地域の魅力を活かした情報発信や広域観光の推進

2 教育旅行の受入継続、受入農家の負担軽減への取組推進

- ・ 北方領土プログラムと農業及び漁業体験を組み合わせた教育旅行の誘致、道外でのイベントの開催などを通じた交流・関係人口の創出・拡大
- ・ 教育旅行における受入農家の負担軽減と、新たな受入地域及び農家増加に向けた取組